

病院名 大津赤十字病院

場所 〒520-8511 大津市長等 1-1-35

キーワード：高度救命救急センター、整形外科専門研修プログラム基幹病院、

3 次救急病院

スタッフ

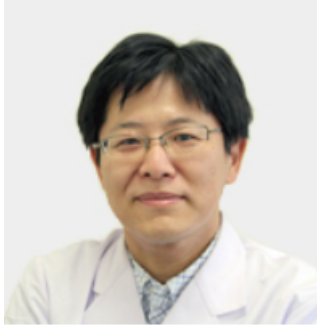
岡本 健 平成 6 年卒 第一整形外科部長 日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会
脊椎脊髄病医、京都大学医学部臨床教授



青木弥寿弘 昭和 61 年卒 第二整形外科部長 日本整形外科学会専門医、日本整形外科学
会リウマチ医、日本整形外科学会脊椎脊髄病医、社会医学系専門医、日本 DMAT 隊員



安良 興 平成 8 年卒 第一整形外科副部長 日本整形外科学会専門医、日本整形外科学
会脊椎脊髄病医、日本骨粗鬆症学会認定医、日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医



板倉 慎 平成 15 年卒 医長 日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会リウマチ医、日本整形外科学会運動器リハビリテーション医

藤田一晃 平成 29 年卒 医師

一柳和希 平成 29 年卒 医師

金山依玲奈 平成 31 年卒 医師

岩田惇史 平成 31 年卒

西村哲也 令和 2 年卒

施設認定

日本整形外科学会専門医制度研修施設、高度救命救急センター、基幹災害拠点病院、DPC 特定病院群、日本手外科学会認定研修施設

手術内容

2021 年手術件数 941 件

骨折手術（骨接合術）が 440 件と 5 割近くを占め、次いで関節外科が 255 件、脊椎・脊髄外科手術が 110 件となっています。

特徴：

大津赤十字病院は 684 床を有する地域の基幹病院で、高度救命救急センターを併設する急性期病院です。京都から近く（京都大学から車で 20 分、電車で 30 分）、京都市内から通勤が容易です。整形外科は病院の性格上、やはり骨折などの外傷外科が治療の中心となります。1 次から 3 次まで救急は断ることなく受け入れ、外傷手術はほとんどを若手医師が執刀します。経験豊富な医師が丁寧に指導しますので自然と経験を積むことができます。慢性疾患も股関節、膝関節、脊椎疾患、スポーツ障害、骨軟部腫瘍と満遍なく症例があり、できるだけ若手医師に執刀してもらっています。手の外科は形成外科が担当していますが、連携して研修も可能です。滋賀医科大学の研修病院でもあり、2 名が在籍しています。